

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	地域芸術文化振興事業	会計	一般会計	事業No.	777	施策順No.	27-001
		事業種別	政策・重点	予算科目	10-5-4-11-2		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	公民館		
施策	27 文化芸術の振興		事業期間	開始	18	終了	23

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市民						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		飯田市の人口(人)	107259	106630	105691	105036		
	意図	様々な文化芸術活動に出会ったり、創造する。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	事業への延べ参加者数(人)	1721	1622	2160	1800	1924	1800	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		数値的にはほぼ目標値を達成している。但し、この事業の意図する状態を表す数値(成果)といえるかどうか、後期計画策定時には成果指標の検討も必要である。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館、学校の体育館などを会場とした100~200人規模のコンサートの実施。 ・人形劇講座、演奏会、映画鑑賞会、地域伝統芸能学習会、美術講座など、市民による実行委員会形式で取り込まれる各地区芸術文化事業への支援。 ・人形劇フェスタ地区実行委員会の活動支援。 ・オーケストラと友に〜アフィニスのふるさと飯田音楽祭〜コミュニティコンサートの開催 		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	地域で芸術文化に親しむコンサートなどの実施(各公民館) ・ふるさとコンサート【橋北・橋南・東野合同、羽場、丸山、下久堅、竜丘、三穂】 ・クラリネットコンサート【橋北】 ・人形劇公演【丸山】 ・上久堅地区写真展【上久堅】 ・陶芸教室【上久堅】 ・今田人形浄瑠璃の保存と継承【龍江】 ・オーケストラと友に音楽祭2010コミュニティーコンサート【山本】 ・黒田人形を動かそう!(黒田人形教室)【上郷】 ・夏休み子ども映画の夕べ【南信濃】	講座等開催数	30回
23年度実施計画	地域で芸術文化に親しむコンサートなどの実施(各公民館) ・ふるさとコンサートの開催 ・人形劇公演 ・黒田人形教室 ・陶芸教室 など	講座等開催数	25回

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
		県支出金				
		起債				
		その他				
		一般財源	428	399	407	
		計(A)	428	399	407	
		正規職員所要時間		310		
		臨時職員等所要時間		180		
		人件費計(B)		1,302		
		トータルコスト A+B		1,701		

4 事業に対する市民や議会の意見

--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民が①いつでも誰でもどこでも気軽に親しむ、②自己表現の機会が得られる、③文化活動を主体的に担う。	施策の成果指標又はムトス指標	文化芸術に無縁な生活を送っている人の割合 文化創造活動に自ら主体的に関わっている市民の数
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	条件的に不利な地域でもクラシック音楽などに親しめる機会を提供できるよう事業展開を図ってきた。		
	後期に向けた課題	前期基本計画では、市の予算で展開する事業を中心に記載して評価してきたが、人形劇フェスタの地区公演や、各地区の文化祭、芸能祭など、地区費などで展開する身近な文化芸術活動も事業実績として掲載する必要があること。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	ふるさとコンサートは、毎年開催会場を変えて様々な地区で実施できるよう配慮した。		
	後期に向けた課題	特になし。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	予算は主に「謝礼」であり、適正な額での執行に留意した。		
	後期に向けた課題	特になし。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切 でしたか	4年間の振り返り	身近な地域で芸術文化に親しむ機会を提供することで、地域住民の主体的な文化芸術活動のきっかけを作るのが公民館であり関与は適切だった。		
	後期に向けた課題	特になし。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果た しましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政は どのような働きかけをしてきましたか、又は、 配慮してましたか	4年間の振り返り	①文化芸術活動の主体は市民(地域住民)である。 ②公民館は、身近な地域で文化芸術に親しめる機会を提供するとともに、市民(地域住民)の主体的な活動を支援してきた。		
	後期に向けた課題	公民館は、今後も継続的に機会の提供と支援を担っていく必要があるが、経費も含めどこまでを担っていくかが課題。		
全体を通じて	4年間の振り返り	公民館が企画実施する事業のほか各公民館には文化芸術分野のグループ・サークルも多く存在するので、公民館は場の提供も含め、継続的に市民主体の芸術文化活動を支援してきた。		
	後期に向けた課題	事務事業評価としては「市費」の活用事業に限定して掲載してきたが、地域には多様で独自の芸術文化活動があるので、それらを含めて事業評価をしないと全体が見えない。また細々目の分割により「27 文化芸術の振興」に位置づけているが、公民館では文化芸術文化の事業も、地域住民の学習と交流の一環として展開するものであり、「28 学習交流活動の推進」に位置づけるべきである。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ある	対象や意図を修正する必要はありますか	ある	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------